

# 前回懇談会での意見への対応について

令和元年12月4日

国土交通省 東北地方整備局

## 前回懇談会での主な意見

前回懇談会での主な意見	対 応
<p>河床の高さ、あるいは植生の状況等により、流水を阻害するものが出てきた場合には、もともと想定していた遊水地への流入量にならない可能性もある。遊水地機能を当初想定したものにするためには、これまで以上に河道の管理というものが重要になってくる。</p>	<p>河道の変状や植生の状況について、継続的にモニタリングを実施し、河道及び遊水地の機能に支障の無いよう河道の維持に努めます。</p>
<p>吉田川の水国調査等で、河口から中流域にかけて魚類の生息状況は以前よりずっと良くなっており、慎重に工事を行っている事だと思うので、今後も慎重に工事を続けて頂きたい。</p>	<p>河道掘削の計画にあたっては、多様な動植物の生息・生育・繁殖の場ができるだけ消失しないよう掘削形状等に十分配慮します。</p> <p>河道掘削の施工にあたっては、河川環境に与える影響が極力少なくなるよう、施工時期、施工方法等に配慮します。</p>
<p>吉田川上流遊水地の効果として、吉田川本川の上流部でも大きく浸水範囲が減っており、吉田川上流部で大きく効果が出るというのはどういうことか。</p>	<p>床上浸水対策特別緊急事業により、竹林川、善川遊水地で貯留するほか、吉田川上流部において河道掘削することで吉田川の水位が低下するため、浸水範囲が減少することとなります。</p>
<p>吉田川上流遊水地群の整備効果水位縦断図に記載の低水路平均河床高が記載されているが、25k～26k付近に高い部分がある。当該箇所は掘削する計画となっているか教えてほしい。</p>	<p>吉田川25k～26k付近は、河道掘削の予定箇所となっています。</p> <p>【P2参照】</p>
<p>遊水地の整備により、平成27年9月洪水と同程度の洪水において、HWL以下に水位が低減することだが、これで洪水被害が起きないということではない。</p> <p>整備効果を説明すると安心してしまい逃げなくなるということがよくある。</p>	<p>「施設では守り切れない洪水は必ず発生する」という前提のもと、地方自治体や県、国等の関係機関が一体となって、減災にかかる取り組みを推進していきます。</p> <p>【P3～12参照】</p>

# 前回懇談会での主な意見への補足事項

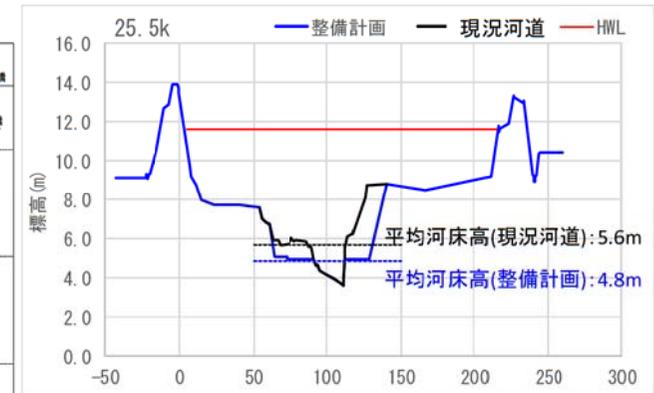
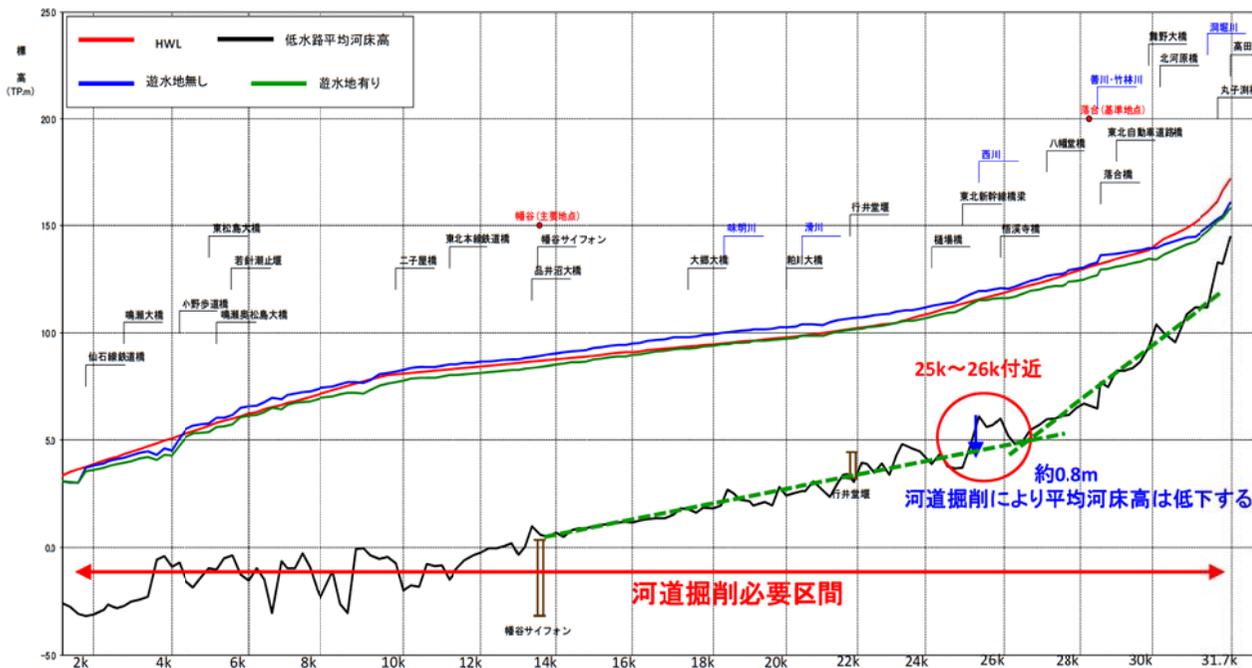
## ■ 前回懇談会での意見

吉田川上流遊水地群の整備効果水位縦断面図に記載の低水路平均河床高が記載されているが、25k～26k付近に高い部分がある。当該箇所は掘削する計画となっているか教えてほしい。

## ■ 補足事項

吉田川25k～26kは勾配が変化する箇所であり、また、河道が湾曲しているため流速が変化し土砂が堆積しやすい箇所となっています。整備計画ではこの区間を含め一連区間で河道掘削を行います。

今後も、水文・水質調査や河道の縦横断測量、環境調査及び河川巡視などを継続的・定期的を実施していきます。



## 前回懇談会での主な意見への補足事項

### ■前回懇談会での意見

遊水地の整備により、平成27年9月洪水と同程度の洪水において、HWL以下に水位が低減するとのことだが、これで洪水被害が起きないということではない。

整備効果を説明すると安心してしまい逃げなくなるということがよくある。

### ■補足事項

鳴瀬川大規模氾濫時の減災対策協議会では、近年の雨の局地化・集中化、激甚化を踏まえ、「施設では守りきれない大洪水は必ず発生する」という前提にたつて、地方自治体や宮城県、国等が減災に係る取組を引き続き行っていきます。また、出前講座等により防災意識の向上及び防災知識の理解を深める取組を推進していきます。



【大規模災害時の減災対策協議会(令和元年11月22日)】

## 近年の取組事例

### 鳴瀬川等・北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会 平成30年度の減災に係る主な取組事例

#### 【北上川下流河川事務所】

番号	内 容	日時	場所	参加人数
1	水防災に関する講演会(中粕川地区防災訓練)	H30.4.8	大郷町粕川社会教育センター	約60名
2	地域の担い手育成企画「石巻工業高等学校との水防工法合同訓練	H30.6.8	石巻工業高等学校	約70名
3	「洪水に備える・江合川の改修について」涌谷町城山自治体において出前講座を開催	H30.10.18	涌谷町中地区コミュニティセンター	27名
4	あいぽーとフェア'18開催 (簡易アラートの紹介と体験)	H30.11.3	北上川学習交流館(岩手県一関市)	約135名
5	「一級河川鳴瀬川について・洪水に備える」出前講座を開催	H30.11.11	大崎市 中区集会所	約30名
6	「一級河川鳴瀬川について・洪水に備える」東松島市小野地区自主防災組織連絡協議会において出前講座を開催。	H31.2.7	東松島市 小野集会所	12名
7	重要水防箇所合同巡視 石巻市(河北・北上地区、石巻・河南地区、桃生地区)、涌谷町、登米市(津山地区、登米地区、中田地区、東和地区、豊里地区)、大崎市(田尻地区、古川地区、鹿島台地区、松山地区、三本木地区)富谷市、松島町、東松島市、大和町、大衡村、大郷町、美里町	H30.5.28 ～ H30.6.29	各地区の 重要水防箇所	約400名

# 近年の取組事例

## 【防災・床上事業に関する講演会を実施】

- 平成30年4月8日(日)に大郷町の粕川社会教育センター(旧粕川小学校)において、中粕川区自主防災組織主催による防災訓練が行われ、吉田川の河川整備計画と上流遊水地事業について講演会を実施。  
(参加者:中粕川区民及び消防団員約60名)
- 鳴瀬川水系の概要、関東・東北豪雨の概要、吉田川中流部河道掘削の実施状況、吉田川床上浸水対策特別緊急事業の概要、河川の防災情報など、豪雨災害への備えと国土交通省の取組について説明を実施。



中粕川区民及び消防団員など(約60名)が参加

### ■講演の内容

1. 鳴瀬川・吉田川流域の特徴
2. 平成27年9月関東・東北豪雨
3. 鳴瀬川水系河川整備計画の変更内容
4. 吉田川中流部河道掘削
5. H29.10.22~10.23台風21号による大雨時の状況
6. 吉田川床上浸水対策特別緊急事業概要
7. 河川情報の提供



# 近年の取組事例

## 【出前講座を実施(洪水に備える。)】

- 平成30年11月11日、大崎市松山駅前中区の防災訓練の一環として、一級河川鳴瀬川の概要や洪水について出前講座を実施。(参加者:大崎市松山駅前中区の地域住民約30名)
- 鳴瀬川の概要や改修の歴史や洪水の歴史の他、「洪水に備える」と題して、気象用語の解説や水位情報の収集方法などを説明し、洪水発生時の事前の準備や心構え等について説明を実施。



▲説明を受けている皆様



▲大崎市の担当者はハザードマップや避難情報について説明

### ■講演の内容

1. 一級河川鳴瀬川
2. 一級河川とは?
3. 鳴瀬川の概要と歴史
4. 鳴瀬川総合開発事業について
5. 洪水に備える
6. 「守りきれない洪水は必ず発生する!」上映.

### 一級河川鳴瀬川について

国土交通省 東北地方整備局  
北上川下流河川事務所

### 洪水に備える

東北地方整備局 北上川下流河川事務所

国土交通省

守りきれない  
洪水は  
必ず発生する!

# 宮城県の実施事例

## 鳴瀬川等・北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会 平成30年度の減災に係る主な実施事例

### 【宮城県】

番号	内 容
1	出前講座 ・水害から命を守るために ～ハザードマップによる洪水への備え～ ・運河・閘門の歴史や役割等、水難事故への対処法、カヌー体験など ・渋井川の水害について ・鳴瀬川・漆沢ダム出前講座 ・ダム通知文等解説出前講座(関係機関向け)
2	重要水防箇所の合同巡視

■近年全国で多発している記録的な豪雨に備え、ダムの洪水貯留の限界と住民避難の重要性について 出前講座を実施。  
(参加者:小学校等 計15回 延べ692名)



鳴瀬川・漆沢ダム出前講座

■ダムの治水機能と防災操作における関係機関への通報や異常洪水時防災操作について 出前講座を実施。  
(参加者:関係機関 計9回)



ダム通知文等解説出前講座

## 自治体の取組事例

### 鳴瀬川等・北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会 平成30年度の減災に係る主な取組事例

#### 【自治体】

自治体名	内 容	参加人数
大衡村	総合防災訓練、重要水防箇所合同巡視の実施	約420名
大和町	水防災意識の向上のため「防災気象講演会」開催。 地域防災訓練（応急処置訓練、炊き出し訓練、土嚢積み訓練）の実施。	約500名
松島町	総合型防災マップ及び津波ハザードマップの作成、防災行政無線戸別受信機の無償貸与。	—
美里町	水防演習の実施	約300名
涌谷町	町民防災講演会の開催。重要水防箇所合同巡視の実施。	約50名
石巻市	出前講座等の実施。石巻市防災センター運用開始。	約700名
登米市	防災講話の実施。水防訓練の実施。 コミュニティFM放送の整備。避難所看板の更新。	約2,300名
栗原市	総合防災訓練の実施。若い世代を対象とした防災教育の実施。	約2,000名
東松島市	水防訓練、水防工法訓練の実施。防災行政無線難聴地域の解消。	約200名
大崎市	総合防災訓練の実施。マイ・タイムラインの実施。	約1,300名
富谷市	総合防災訓練の実施。	約400名
大郷町	水防訓練の実施。重要水防箇所合同巡視の実施。	約120名
色麻町	水害を想定した総合防災訓練の実施。	約1,100名
加美町	陸奥ALERT2018訓練の参加。	約10名

# 自治体の取組事例

## 【大衡村】総合防災訓練状況



災害対策本部会議



消防団員による堤防の嵩上げ訓練



災害応急措置協力会の道路啓開訓練



土砂埋没車両からの救出訓練

## 【大和町】地域防災訓練状況



マンホールトイレ設置訓練



応急措置訓練

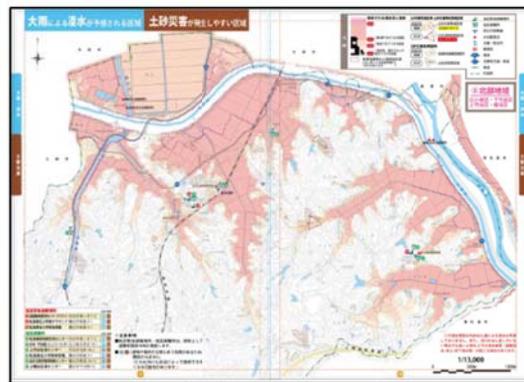
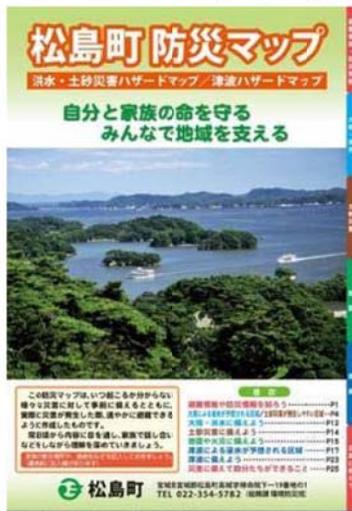


炊き出し訓練



土のう積み訓練

## 【松島町】総合型防災マップ及び津波ハザードマップの作成



総合型防災マップ

## 【美里町】水防演習の実施状況



積土のう工法訓練



シート張工法訓練



月の輪工法訓練



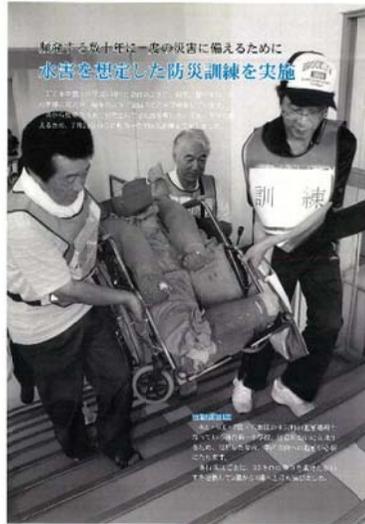
木流し工法訓練

# 自治体の取組事例

## 【涌谷町】 防災講演会・総合防災訓の実施状況



防災講演会



総合防災訓練の実施



防災マップ

## 【石巻市】 出前講座の実施及び防災センター運用開始



出前講座状況



石巻市防災センター運用開始



## 【登米市】 コミュニティFMの整備、避難所看板の更新



避難所看板



コミュニティFM電波を活用し自動的に起動する「緊急告知ラジオ」

## 【栗原市】 若い世代を対象とした防災教育



防災教育



土のう製作訓練 10

# 自治体の取組事例

## 【東松島市】 総合防災訓の実施状況



積土のう工法訓練



月の輪工法訓練

- 洪水ハザードマップの周知
  - ・ハザードマップを全戸配布するとともに、地域住民への説明会を実施
- 防災行政無線の難聴地域解消促進
  - ・60MHzから280MHzへの戸別受信機の更新

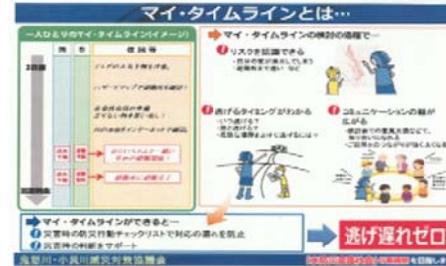
## 【大崎市】 防災訓練の実施及びマイ・タイムラインの作成



自主防災組織及び小学校児童により実施



消防団による水防訓練



自主防災組織での防災講話

## 【富谷市】 総合防災訓練の実施状況



仙台管区气象台による講演



総合防災訓練時の講演

## 【大郷町】 重要水防箇所合同巡視及び水防訓練の実施



合同巡視状況



意見交換会状況



土のう製作訓練



積土のう工法訓練

# 自治体の取組事例

## 【色麻町】 総合防災訓の実施状況



住民避難訓練



避難者受付訓練



応急手当訓練



積土のう工法訓練

## 【加美町】 みちのくALERT2018

「みちのくALERT2018」は、陸上自衛隊が東北方面隊災害対処訓練(米国との共同を含む)として実施する実動訓練。



自衛隊との合同訓練



自衛隊との合同訓練